

ピーリングに関する消費者意識と利用実態調査レポート(2025)

株式会社RiLiSh



調査概要

本調査は、ピーリングに関する利用目的・効果実感・ダウンタイム・情報収集行動・継続意向を多角的に把握することを目的として実施しました。施術前後の体験と意思決定要因を整理し、ピーリング利用者の実態とニーズの構造を明らかにしています。

1. 施術目的の整理

ピーリングを受けた理由(毛穴・くすみ・ニキビ等)を確認し、ニーズの中心軸を把握。

2. 効果実感と即時性の把握

効果実感の強さ、実感した変化、効果が出るまでの期間を整理し、体験価値のポイントを可視化。

3. 刺激・ダウンタイムの実態把握

施術中の刺激感、施術後の症状と継続期間を確認し、心理的ハードルの実態を整理。

4. 施術経験と継続意向の把握

施術回数、今後の継続意向を確認し、リピートの可能性を把握。

5. 費用感の把握

1回あたり許容できる金額を整理し、受容価格帯の分布を把握。

6. 情報収集経路と店舗選定要因の分析

参考にしたSNS、クリニックサロン選定理由、不安と解消状況を整理し、検討プロセスを可視化。

調査方法

1. **調査手法**
インターネットアンケート調査（利用ツール：[ユニーリサーチ](#)）
2. **調査対象**
全国のピーリング利用経験者（女性に限る）
3. **調査期間**
2025年12月
4. **回答数**
有効回答100件

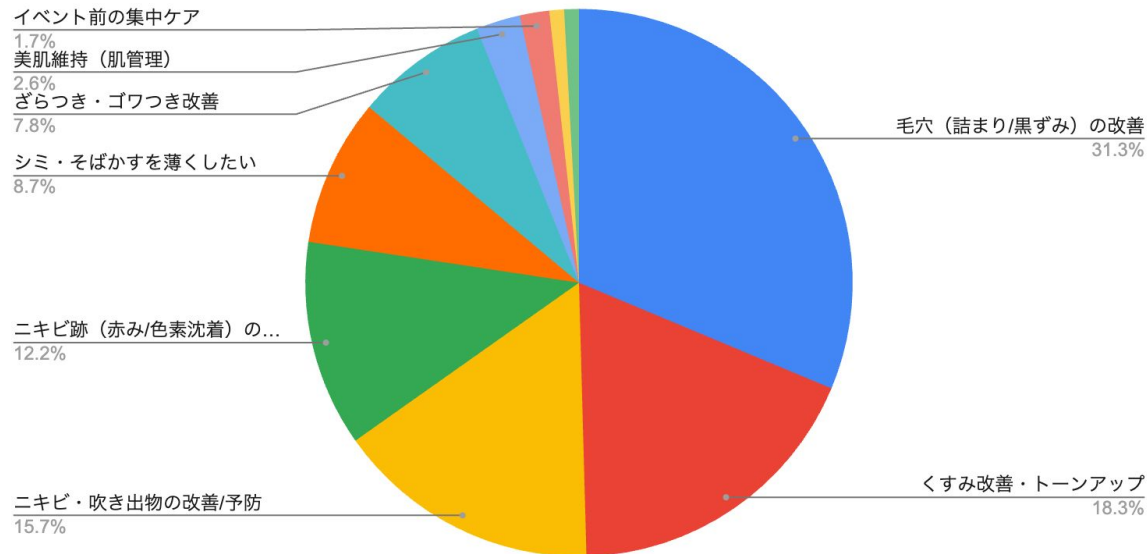
エグゼクティブサマリ

- **ピーリングの主目的は「毛穴（詰まり/黒ずみ）の改善」が中心**
くすみ改善・トーンアップ、ニキビ予防も上位に入り、“見え方の底上げ”ニーズが確認された。
- **興味喚起はInstagram起点が最多。公式投稿・口コミも強い導線**
SNSの情報接触に加え、公式の症例投稿や知人の経験談が同程度に影響している。
- **効果実感は「ある程度実感」が中心で、ポジティブ評価が多数**
具体的にはトーンアップ、毛穴詰まり、ざらつき改善が上位となり、複合悩みへの手応えがうかがえる。
- **効果の実感タイミングは「当日～翌日」が中心**
即時性を感じる層が多い一方で、数日～1週間以上かかるケースもあり個人差がみられる。
- **施術中の刺激は「少しピリピリする程度」が中心で、許容範囲に収まる傾向**
強い刺激を訴える層は少数で、体験ハードルは相対的に低い印象である。
- **ダウンタイム症状はヒリつき・赤み・乾燥が中心だが、期間は短い傾向**
「ほぼゼロ」「1日」が上位で、長期化は限定的。一方で症状の出方には幅がある。
- **継続意向は前向きで、許容価格は5000～14999円に集中**
定期継続・再トライ意向が多く、1万円前後を軸に受容価格帯が形成されている。
- **店舗選びは「口コミ・評判」「近さ」が中心。不安は痛み・肌適合・費用が主要**
施術後は不安が解消方向に動く回答が多く、初回体験が心理的ハードルを下げる結果となった。
- **満足度は6～8点が中心で、推奨意向も「まあ勧めたい」が中心**
高評価も一定数みられ、総合満足は比較的高い水準にある。

ピーリングを受けた主な目的 – 毛穴改善ニーズが中心

- 目的は「毛穴（詰まり/黒ずみ）の改善」が最も多く、くすみ改善・トーンアップやニキビ予防も上位に並んだ。
- 見た目の“クリアさ”を底上げしたいニーズが中心と考えられる。

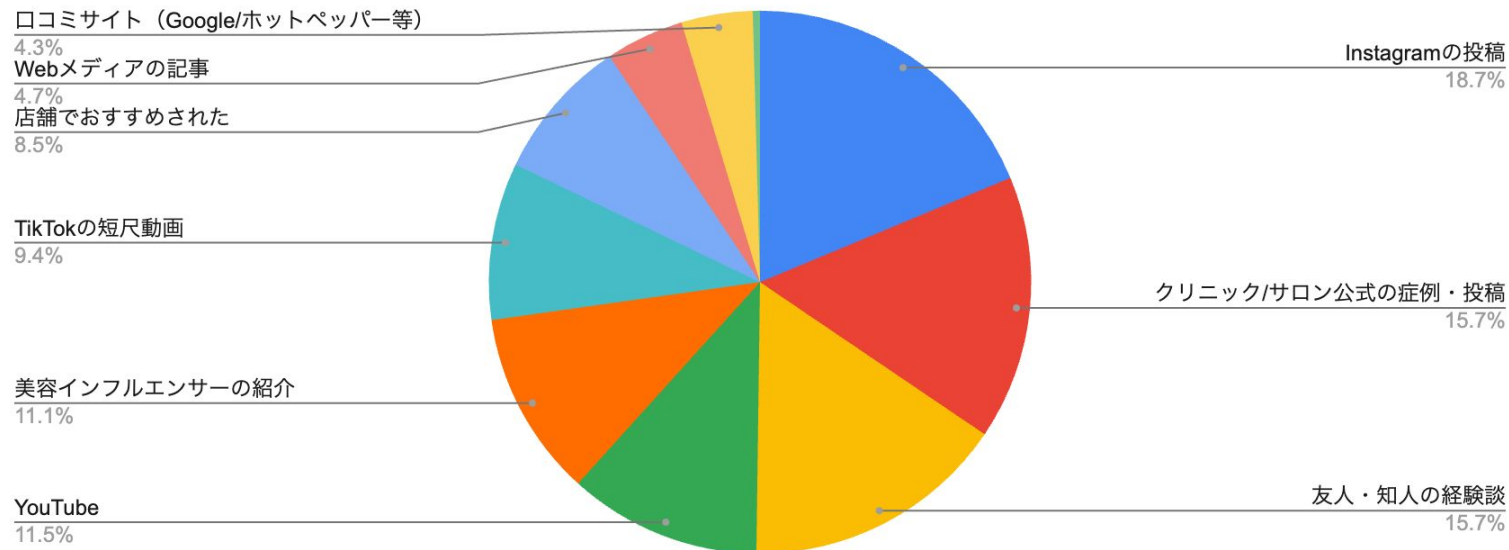
ピーリングを受けた主な目的



ピーリングに興味を持ったきっかけ – Instagram起点が最多で公式投稿・口コミも強い

- きっかけは「Instagramの投稿」が最多で、公式の症例投稿や知人の経験談も同水準で上位となった。
- SNSと身近な口コミの両方が、興味形成を後押ししている。

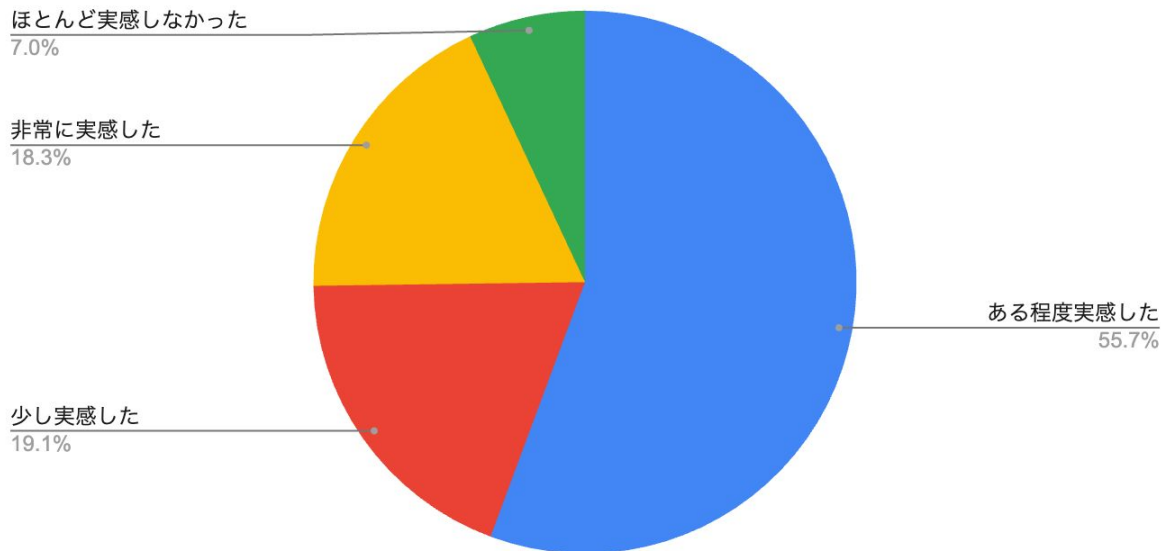
ピーリングに興味を持ったきっかけ



ピーリングの効果をどの程度実感したか – 「ある程度実感」が中心でポジティブ評価が多数

- 効果は「ある程度実感した」が中心で、「非常に実感した」も一定数みられた。
- 実感が弱い層は少数で、全体として手応えを得やすい施術体験がうかがえる。

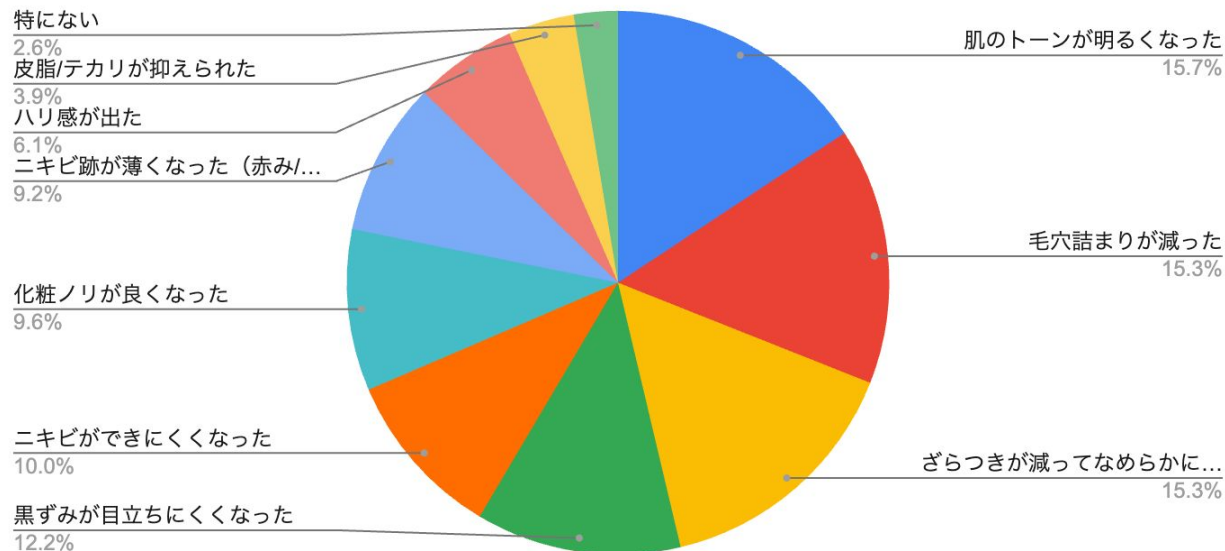
ピーリングの効果をどの程度実感したか



実感した具体的な効果 – トーンアップと毛穴・質感改善が主要

- 「肌のトーンが明るくなった」が最多で、毛穴詰まりの改善やざらつきの軽減も同水準で上位に並んだ。
- 黒ずみ・ニキビなど複合悩みに対し、“肌の見え方”を整える実感が得られている。

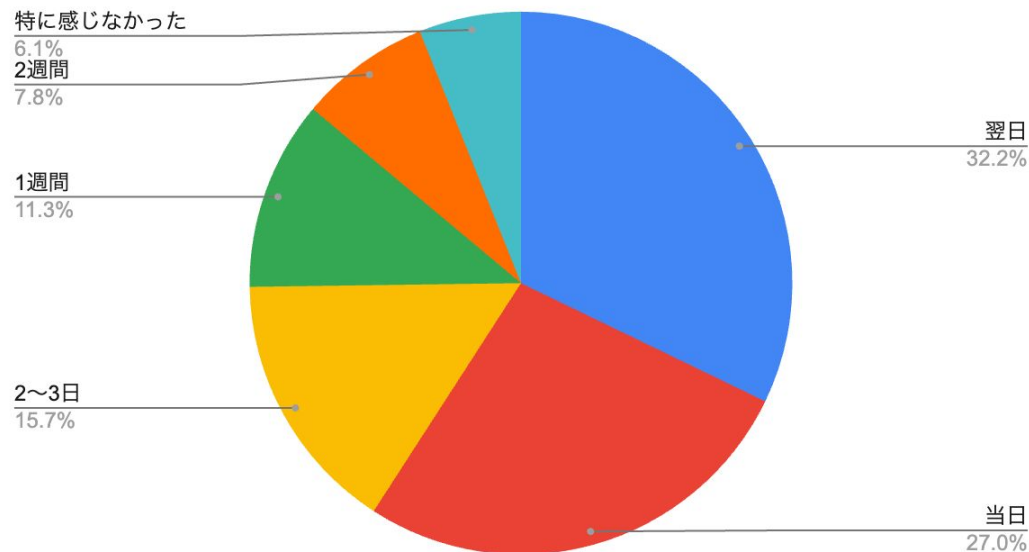
実感した具体的な効果



効果が出るまでの期間 – 当日～翌日に実感する層が中心

- 「当日」「翌日」が上位を占め、比較的早い段階で変化を感じる層が多い結果となった。
- 一方で1週間以上かかるケースもあり、肌状態や施術内容による個人差がみられる。

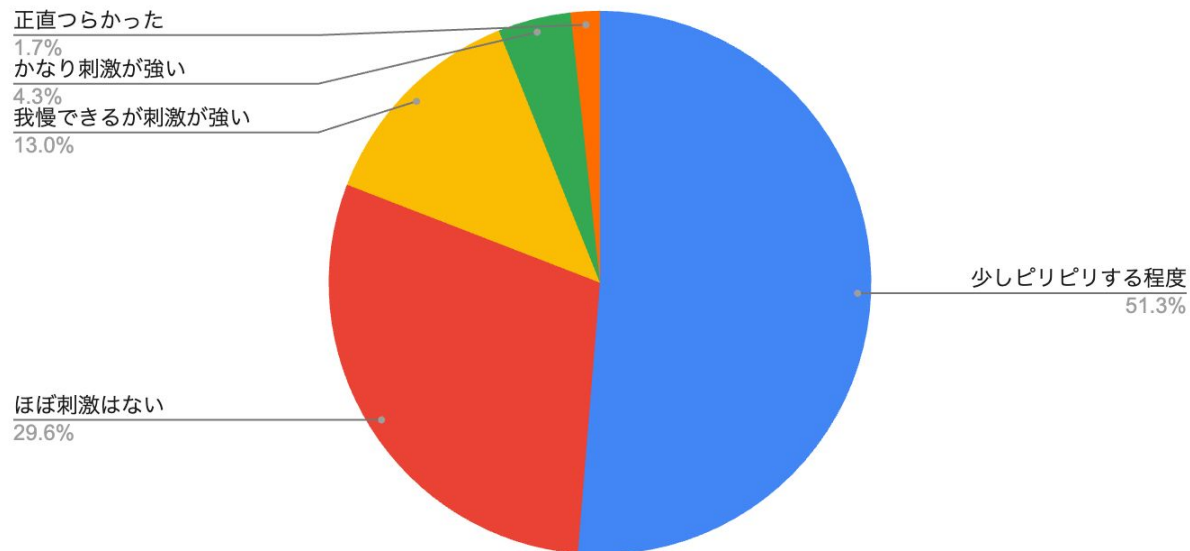
効果が出るまでの期間



施術中の刺激・痛み – 「少しピリピリ」が中心で許容範囲に収まる傾向

- 刺激は「少しピリピリする程度」が最多で、「ほぼ刺激はない」も一定数みられた。
- 強い刺激を訴える層は少数で、体験ハードルは比較的低い印象である。

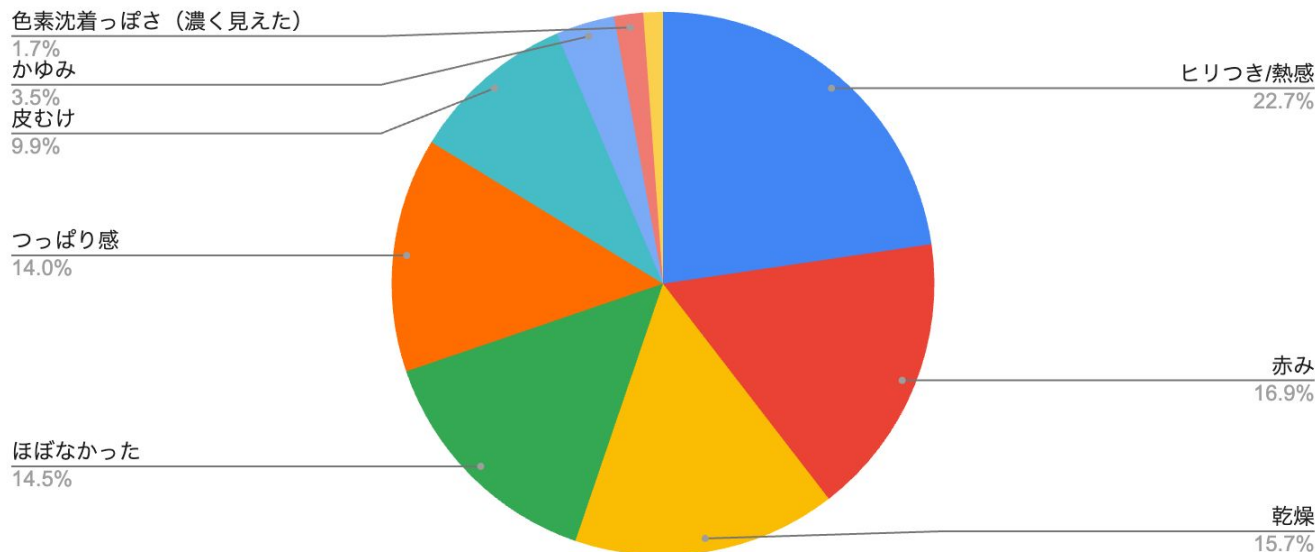
施術中の刺激・痛み



ダウンタイム（施術後）で経験した症状－ヒリつき・赤み・乾燥が中心

- 「ヒリつき/熱感」「赤み」「乾燥」が上位に挙がり、つっぱり感や皮むけも一定数みられた。
- 一方で「ほぼなかった」も多く、症状の有無や程度には幅がある。

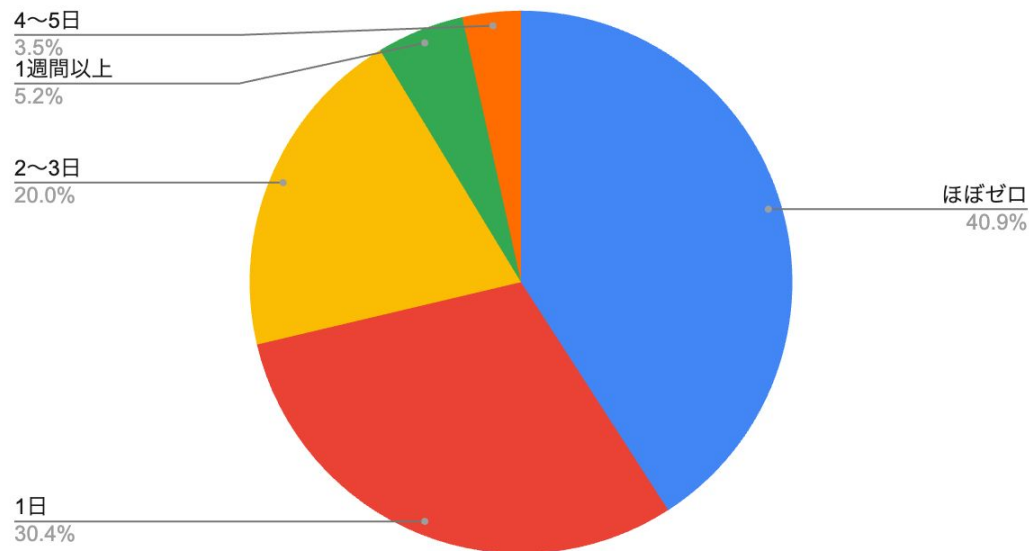
ダウンタイム（施術後）で経験した症状



ダウンタウンの継続期間 – 1日以内に収まるケースが中心

- 「ほぼゼロ」「1日」が中心で、短期間で落ち着く回答が多い。
- 2～3日続く層も一定数あり、回復スピードは肌質や施術強度で分かれる。

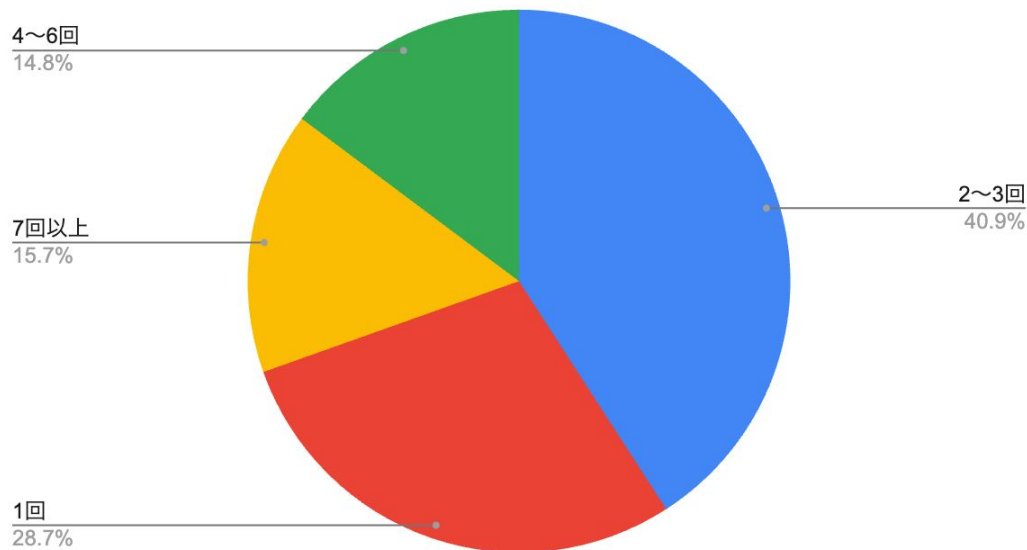
ダウンタイムの継続期間



これまでピーリングを受けた回数 – 2～3回経験者が中心で継続層も存在

- 経験回数は「2～3回」が最多で、「1回」も多く初回～ライト層が一定数存在する。
- 4回以上の継続層もみられ、定期的な肌管理として取り入れる動きが確認された。

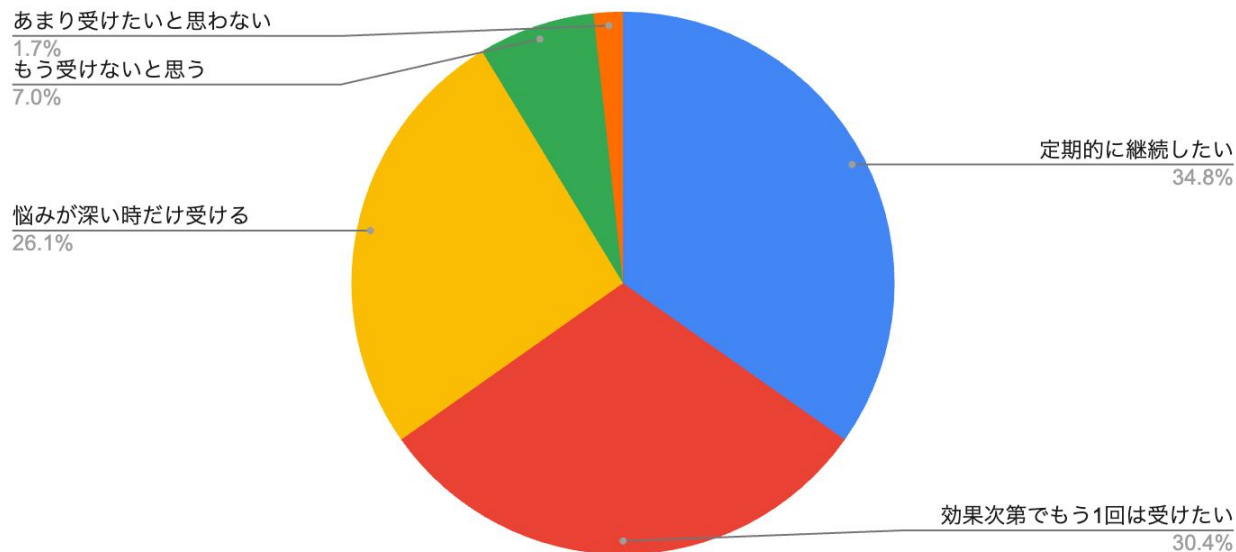
これまでピーリングを受けた回数



今後もピーリングを継続したいか – 継続前向きが中心で「定期」「もう1回」も多い

- 「定期的に継続したい」「効果次第でもう1回は受けたい」が中心で、前向きな回答が多い。
- 「悩みが深い時だけ受ける」層も一定数おり、目的に応じた使い分けがうかがえる。

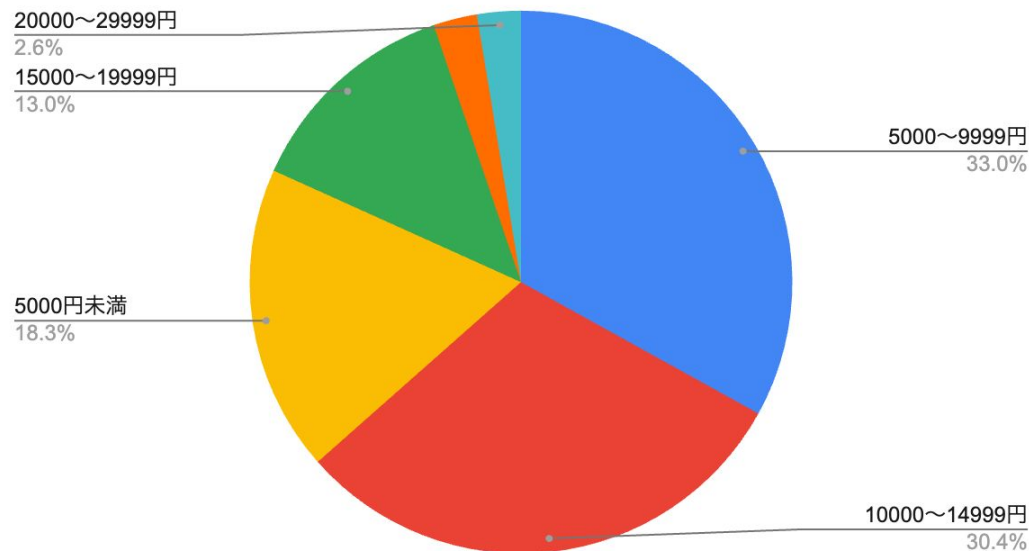
今後もピーリングを継続したいか



1回あたり許容できる金額 – 5,000～14,999円のレンジが中心

- 「5,000～9,999円」「10,000～14,999円」が上位で、1万円前後に分布が集中した。
- 低価格を求める層も一定数みられる一方で、1.5万円以上を許容する層も存在する。

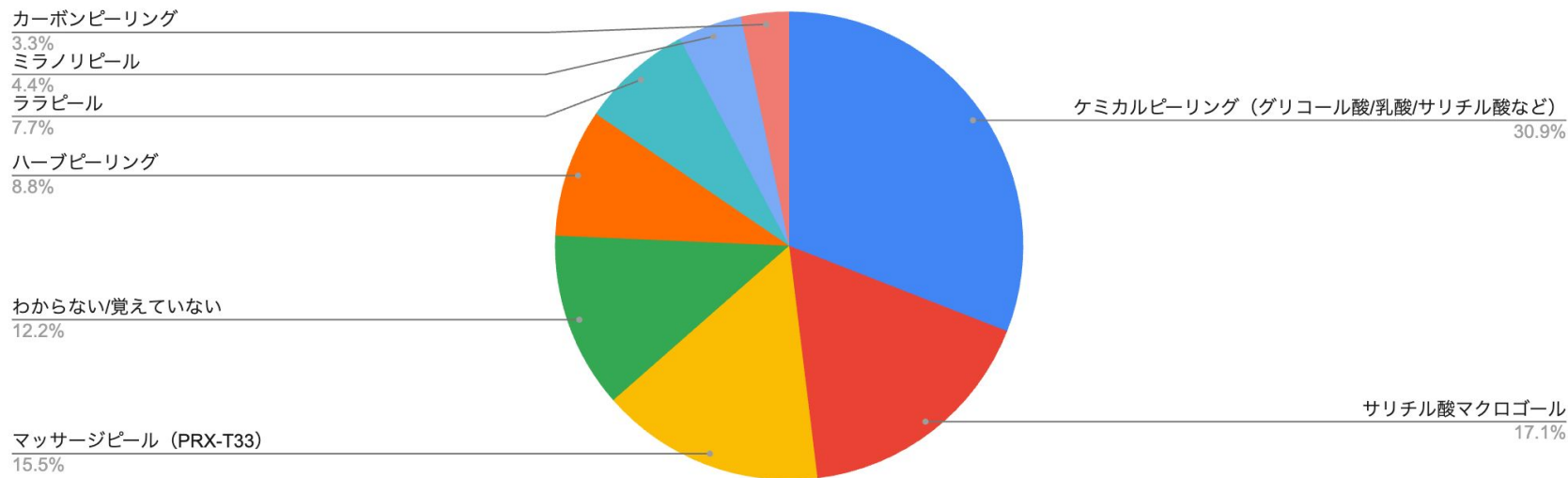
1回あたり許容できる金額



受けたことがあるピーリングの種類 – ケミカル系が最多で選択肢は多様

- 「ケミカルピーリング」が最多で、「サリチル酸マクロゴール」「マッサージピール」も上位に挙がった。
- 一方で「わからない/覚えていない」も一定数あり、名称認知にはばらつきがみられる。

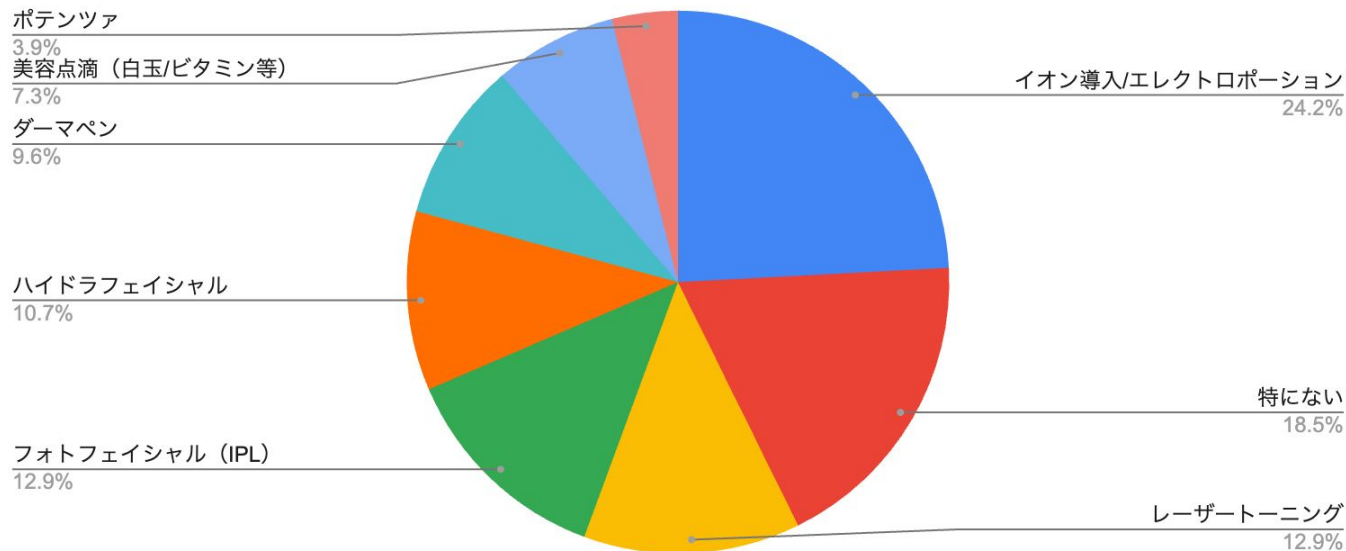
受けたことがあるピーリングの種類



ピーリングと組み合わせた施術 – 導入系が中心でレーザー・IPLも上位

- 「イオン導入/エレクトロポーション」が最多で、レーザートーニングやフォトフェイシャルも同程度に選ばれている。
- 単体で受ける層も多く、目的や予算に応じてメニュー設計が分かれる。

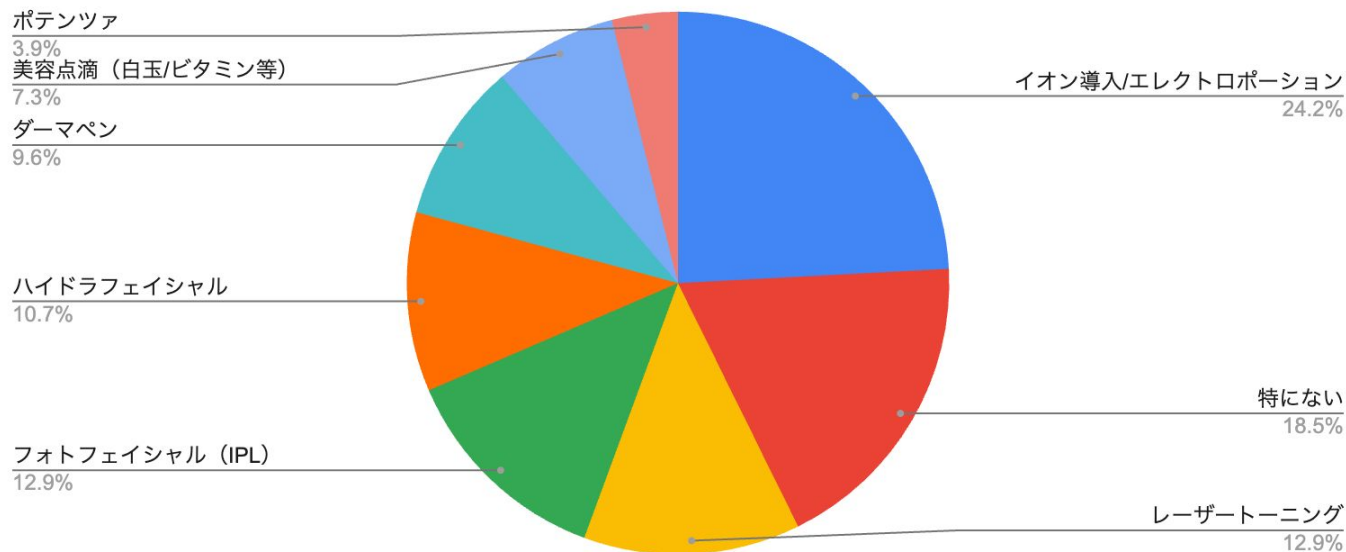
ピーリングと組み合わせた施術



ピーリングと組み合わせた施術 – 導入系が中心でレーザー・IPLも上位

- 「イオン導入/エレクトロポーション」が最多で、レーザートーニングやフォトフェイシャルも同程度に選ばれている。
- 単体で受ける層も多く、目的や予算に応じてメニュー設計が分かれる。

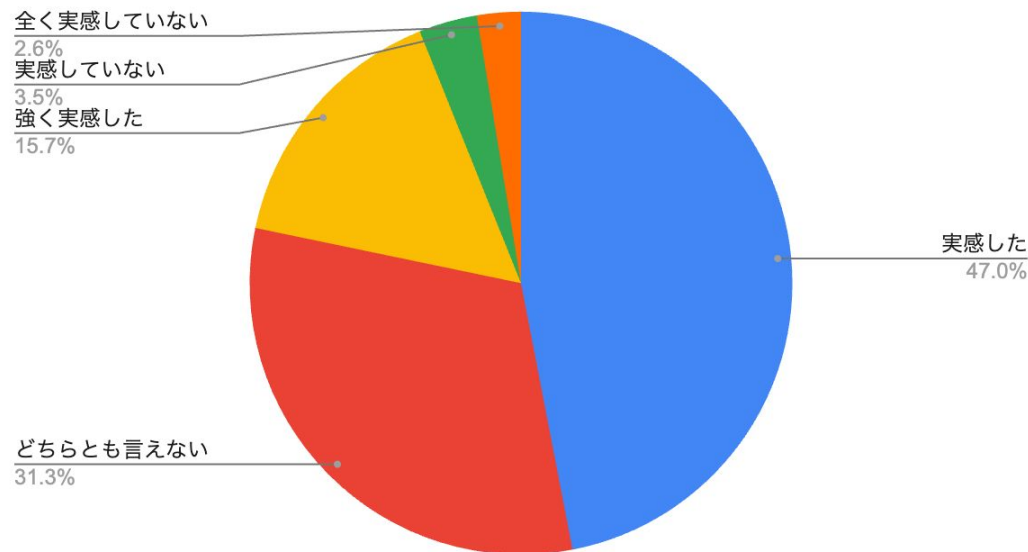
ピーリングと組み合わせた施術



ピーリングの種類による効果の違い – 実感派が多数で差を感じやすい傾向

- 「実感した」「強く実感した」が多数を占め、種類による効果差を感じる層が多い。
- 一方で「どちらとも言えない」も一定数あり、比較経験や肌状態によって判断が分かれる。

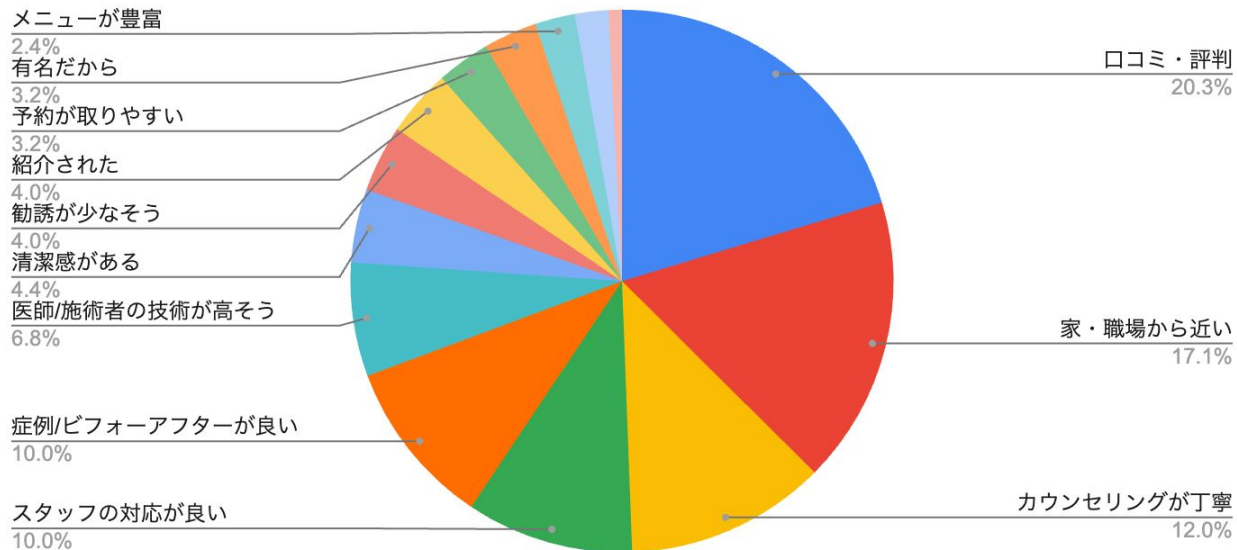
ピーリングの種類による効果の違い



そのクリニック/サロンを選んだ理由 – 口コミ・近さが中心で丁寧さ/症例も重視

- 「口コミ・評判」が最多で「家・職場から近い」が続き、通いやすさと第三者評価が意思決定の軸となった。
- カウンセリングの丁寧さや症例の良さも上位に入り、安心感の担保が重視されている。

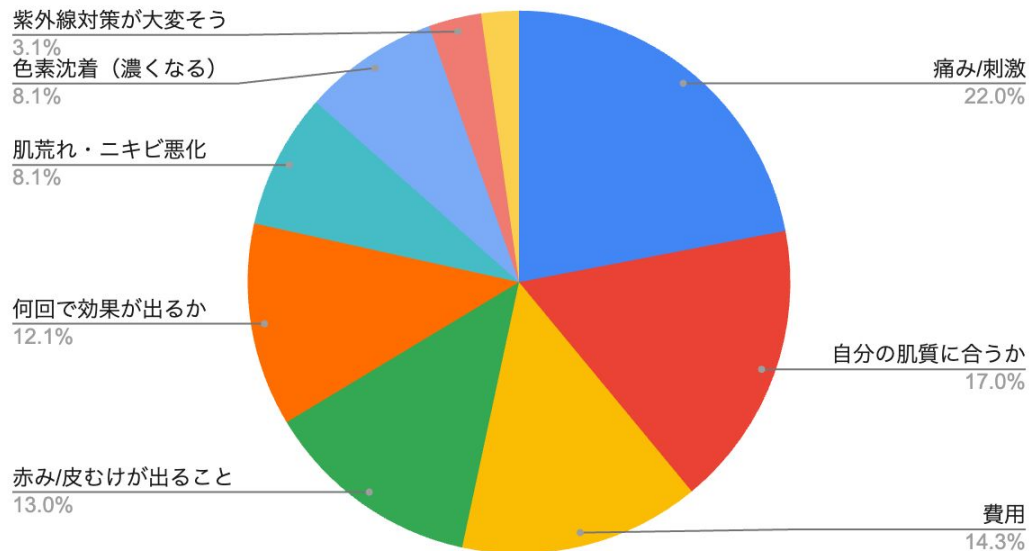
そのクリニック/サロンを選んだ理由



ピーリングを受ける前の不安 - 痛み・肌適合・費用が主要ハードル

- 「痛み/刺激」が最多で、「自分の肌質に合うか」「費用」が続き、適合性とコストが大きな不安要素となった。
- 赤みや皮むけなど反応面の懸念も一定数みられる。

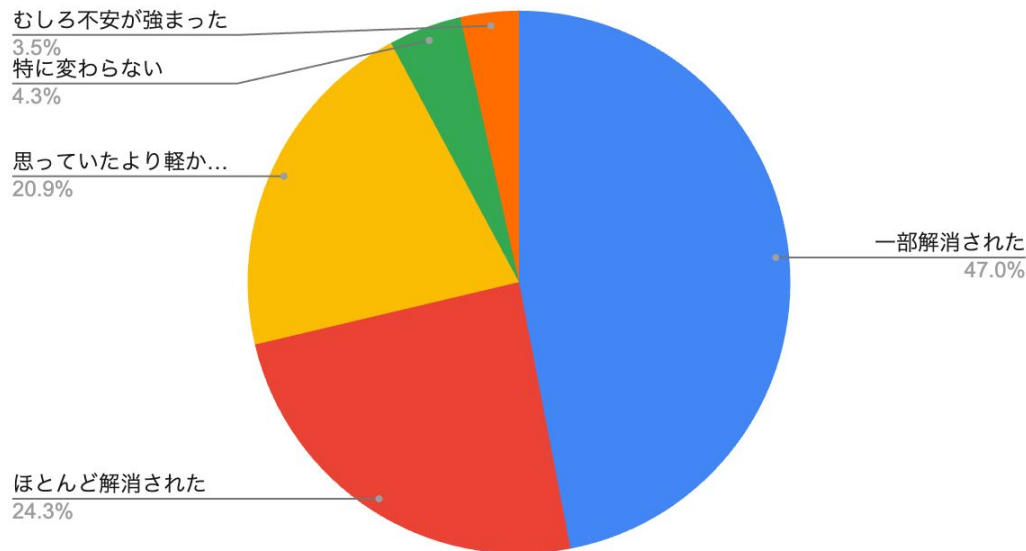
ピーリングを受ける前の不安



施術後に不安は解消されたか – 解消方向が中心で体験後にハードルが下がる

- 「一部解消された」「ほとんど解消された」が中心で、多くが不安の軽減を実感している。
- 「思っていたより軽かった」も上位に入り、体験が心理的ハードルを下げる要因となっている。

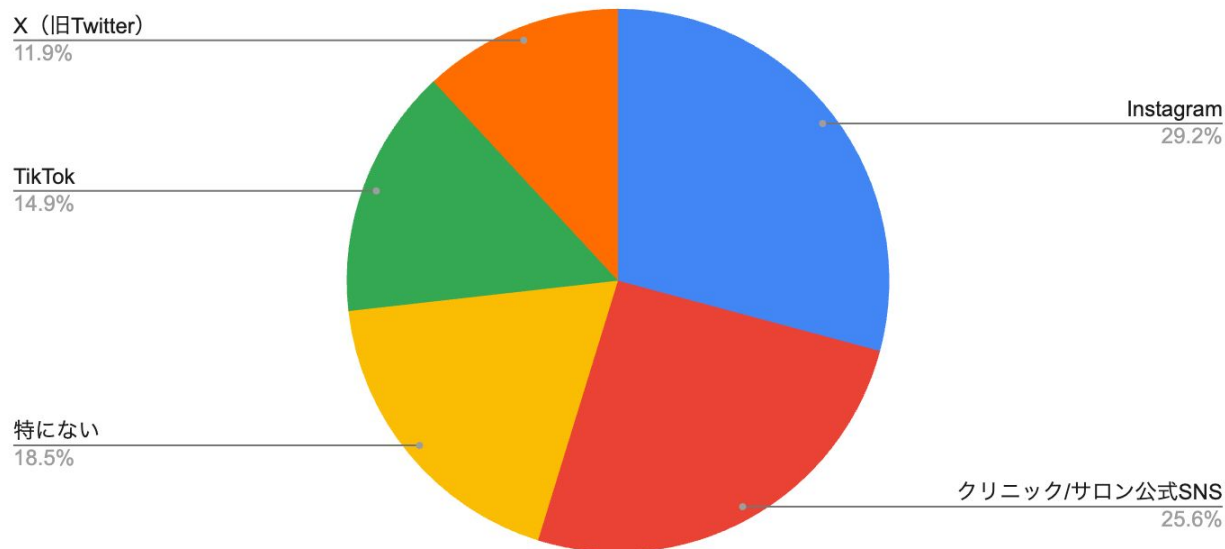
施術後に不安は解消されたか



ピーリングを受ける前に参考にしたSNS – Instagramが中心で公式SNSも強い

- 「ほぼ一致していた」が最多で、「少しギャップがあった」も同程度に多く、期待値とのズレは一定範囲で生じている。
- 大きなギャップは少数に留まり、全体としては許容可能な範囲に収まる傾向がみられた。

ピーリングを受ける前に参考にしたSNS



SNSの印象と実際の効果とのギャップ – 「ほぼ一致」と「少しギャップ」が拮抗

- 「ほぼ一致していた」が最多で、「少しギャップがあった」も同程度に多く、期待値とのズレは一定範囲で生じている。
- 大きなギャップは少数に留まり、全体としては許容可能な範囲に収まる傾向がみられた。

SNSの印象と実際の効果とのギャップ

大きくギャップがあった

9.6%

SNSを参考にしていない

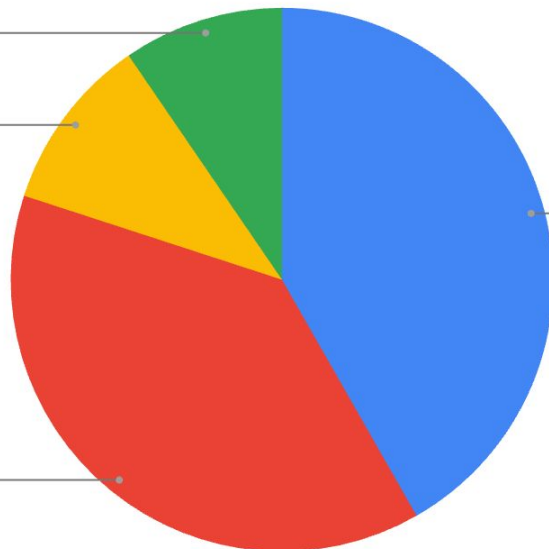
10.4%

少しギャップがあった

38.3%

ほぼ一致していた

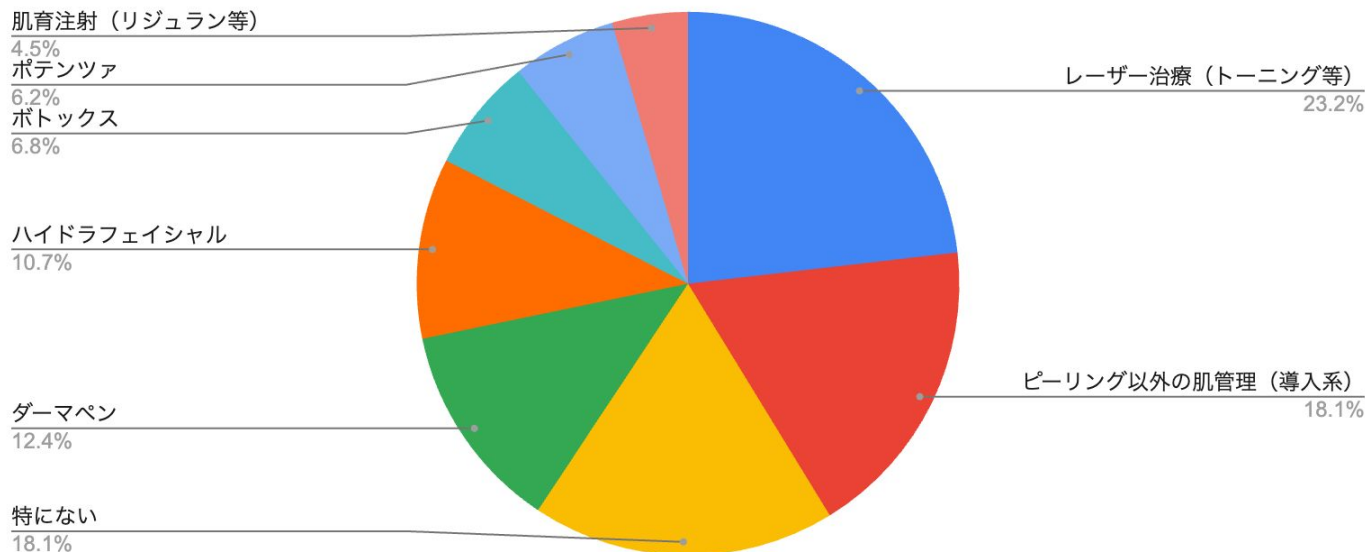
41.7%



今後ピーリング以外で検討している施術 – レーザー治療が最多で“肌質改善系”が上位

- 「レーザー治療（トーニング等）」が最多で、導入系の肌管理やダーマペンなど“肌質改善系”が上位に並んだ。
- 一方で「特にない」も同水準で、ピーリング単体で満足する層も一定数存在する。

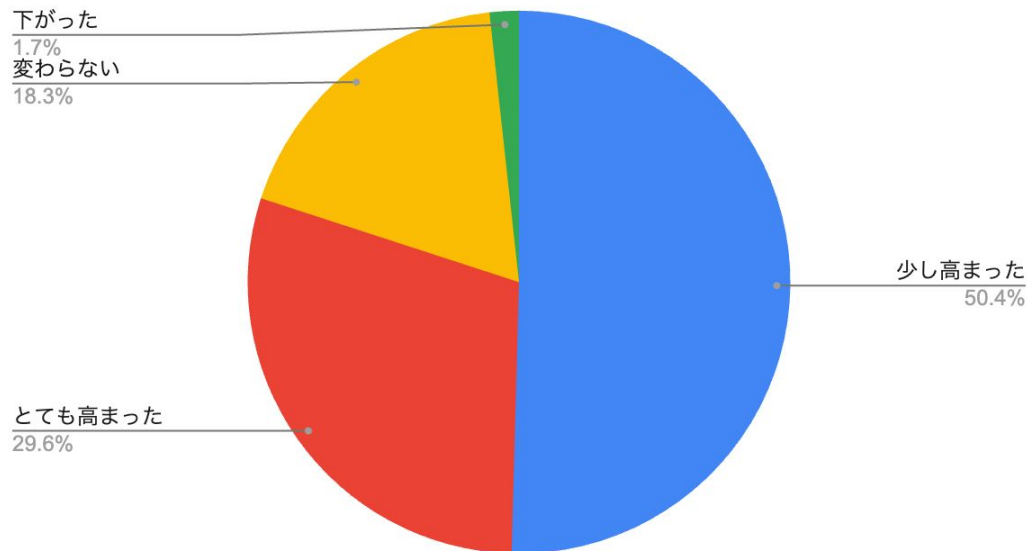
今後ピーリング以外で検討している施術



美容医療についての関心度 – 施術経験を通じて関心が高まる層が中心

- 「少し高まった」「とても高まった」が中心で、施術体験が次の行動意欲につながっている。
- 関心低下は少数に留まり、全体として前向きな変化がみられた。

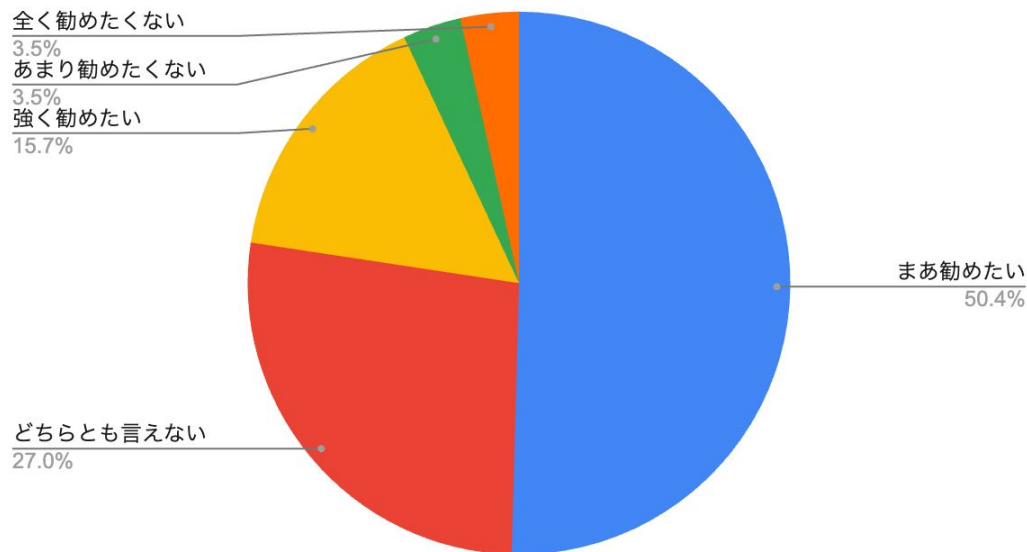
美容医療についての関心度



ピーリングを友人や家族に勧めたいか – 「まあ勧めたい」が中心で否定派は少数

- 「まあ勧めたい」が最多で、「強く勧めたい」も一定数みられ、推奨意向は前向きである。
- 否定的回答は少数で、体験に一定の納得感が得られていることがうかがえる。

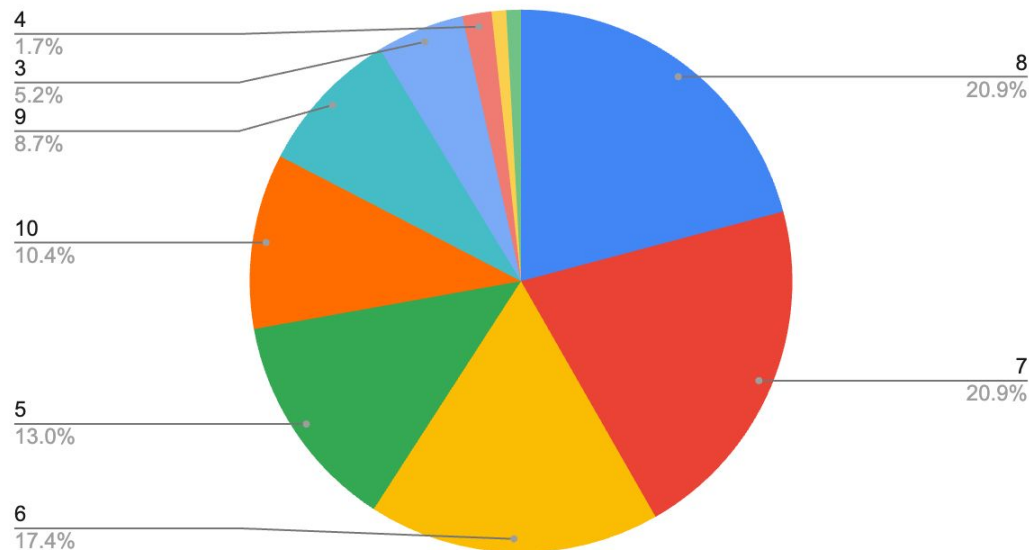
ピーリングを友人や家族に勧めたいか



ピーリング全体の満足度 – 6～8点が中心で高評価寄り

- 満足度は6～8点に回答が集中し、特に7～8点が中心となった。
- 9～10点の高評価も一定数みられ、総合満足は比較的高い水準にある。

ピーリング全体の満足度



まとめ

本調査から、ピーリングは「毛穴（詰まり/黒ずみ）の改善」や「くすみ改善・トーンアップ」など、見た目に直結する悩みの改善ニーズが中心であることが確認された。加えてニキビ予防・ニキビ跡ケアの回答も一定数あり、単一の悩みというより複数の肌悩みをまとめて底上げしたい“肌管理”文脈で選ばれている様子がうかがえる。

興味喚起の導線は、Instagramを起点としたSNS接触が最も強く、クリニック/サロンの症例投稿や美容インフルエンサー、YouTubeなどの情報も利用者の意思決定を後押ししている。さらに、友人・知人の経験談が上位に並ぶことから、「SNSで知る」→「身近な体験談で確信する」という二段階の納得構造が示唆された。

効果実感については「ある程度実感した」が最多で、実感効果はトーンアップ、毛穴詰まり減、ざらつき改善が上位となった。とくに効果が出るまでの期間では当日～翌日が中心であり、ピーリングが短期間で変化を感じやすい施術として捉えられている点は特徴的である。一方で、2～3日～1週間以上の層も存在しており、施術強度や肌状態により体感に幅が出る可能性も踏まえたコミュニケーションが重要となる。

施術中の刺激は「少しピリピリする程度」「ほぼ刺激はない」が中心で、強い刺激の回答は少数だった。ダウンタイム症状としてはヒリつき/熱感、赤み、乾燥、つっぱり感などが一定数みられるものの、期間は「ほぼゼロ」「1日」が上位で、短期で落ち着くケースが多い。ただし、皮むけなどが出る層もいるため、施術後の保湿や紫外線対策を含めた事前説明の丁寧さが満足度に影響すると考えられる。

継続意向は「定期的に継続したい」「効果次第でもう1回」が上位で、再来意向は高い。許容価格は5,000～14,999円帯に集中しており、“通いやすい価格帯”が継続の前提になっていることが読み取れる。組み合わせ施術ではイオン導入/エレクトロポレーションが最多で、レーザートーンニングやIPLなども上位に挙がっており、目的に応じて“掛け算”で体験価値を高める需要がある一方、「特にない」も多く、単体施術で完結するニーズも併存する。

店舗選びでは「口コミ・評判」「家・職場から近い」が中心で、カウンセリングの丁寧さや症例の良さが続く。不安は「痛み/刺激」「自分の肌質に合うか」「費用」などに集中しているが、施術後には「一部/ほとんど解消された」が上位であり、初回体験が心理的ハードルを下げる構造が確認された。総合満足度は6～8点に厚みがあり、推奨意向も「まあ勧めたい」が中心であることから、ピーリングは“肌管理の入口”として一定の支持を得ていると言える。

本データのご利用にあたっての注意事項

1. 本資料に掲載されたデータや内容は、株式会社RiLiShが実施した独自調査に基づくものです。
2. 本調査結果は統計的な傾向を示すものであり、すべての利用者の行動や意識を代表するものではありません。
3. 本資料の内容を引用・転載する場合は、必ず出典として「株式会社 RiLiSh『ピーリングに関する消費者意識と利用実態調査レポート(2025)』」を明記してください。
4. 本資料に記載されている情報の正確性については万全を期しておりますが、利用者が本情報を用いて行う判断・行動については当社は責任を負いかねます。
5. 本資料の一部または全部を、営利目的で二次利用することはご遠慮ください。